

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月20日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンワドー

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役商品開発担当 兼 管理担当 (氏名) 後藤 昭一

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成24年12月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	23,351	1.4	696	△0.5	721	3.7	389	116.7
24年2月期第3四半期	23,033	5.4	699	61.9	696	77.6	179	28.2

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 361百万円 (352.4%) 24年2月期第3四半期 79百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	73.85	—
24年2月期第3四半期	34.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
25年2月期第3四半期	17,920		4,961	27.7			939.71	
24年2月期	17,502		4,663	26.6			883.26	

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 4,961百万円 24年2月期 4,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年2月期	—	0.00	—		
25年2月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	4.0	1,000	15.1	1,000	14.7	400	61.0	75.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	5,280,000 株	24年2月期	5,280,000 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	528 株	24年2月期	528 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	5,279,472 株	24年2月期3Q	5,279,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年2月21日～平成24年11月20日）における我が国経済は、平成24年11月12日内閣府発表の7～9月期の実質GDP（速報値）が前期比△0.9%（年率△3.5%）とマイナスに転じました。東日本大震災の復興需要やエコカー補助金制度等の政府施策効果により、緩やかながら景気回復の兆しが見られる反面、中国や韓国との領土問題の緊張によって輸出入が落ち込み、さらに欧州の債務危機、新興国の経済成長の鈍化、並びに円高基調等の影響によって、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループの営業面では、春先における低温と暴風雨によって農作業、家庭園芸が遅れ、売上に影響が見られました。その後天候の安定とともに農業資材、肥料、用土、作業衣料の売上が軌道に乗りました。食品部門は日配品の品揃え充実や物流手段の見直しによって順調に推移しました。家電部門において液晶テレビやデジタル用チューナー等に特需の反動減が見られましたが、全体的には9月以降残暑が続く中、気候に合わせた季節商品を展開したことによって増収となりました。経費面においては夏場の猛暑と残暑の長期化による影響に加え、食品部門強化に伴う冷凍、冷蔵設備が増え、水道光熱費が嵩ばりましたが、リース料、包装資材、消耗資材等の節減に取組み、販売費及び一般管理費は前年同期比横這いとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,351百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は696百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は721百万円（前年同期比3.7%増）、四半期純利益は389百万円（前年同期比116.7%増）と増収増益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は、6,868百万円（前年同期比6.6%減）となりました。7月下旬の猛暑と9月の残暑の影響により、扇風機、クーラー、よしず、夏物衣料、洗剤等が好調に売上を伸ばしましたが、地上デジタル放送完全移行による特需の反動で、薄型液晶テレビ、地上デジタルチューナーが売上を大きく落とし、さらに震災特需の反動により、乾電池、FF式ストーブも不振でした。

この結果、セグメント利益は54百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

「食品」

「食品」の売上高は、7,173百万円（前年同期比7.2%増）となりました。第2四半期連結累計期間において震災特需の反動や低温の影響により缶飲料、ペット飲料、冷凍品が不調でしたが、9月の残暑により売上を取戻しました。その他、冷蔵品、日配品の強化・拡充、ビール等酒類の新製品・限定品の早期導入及び価格訴求、ギフト販売強化等の食品部門強化策が奏功し売上を大きく伸ばしました。

この結果、セグメント利益は182百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は、5,154百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

「DIY」については、震災特需の反動により、防災用品が不調でしたが、雪害修繕需要が発生し、住宅の屋根・壁等に使用する木材、屋根材、建築資材の売上が好調に推移しました。また、修繕作業に使用する電動工具、脚立や投光器等の屋外作業用品が堅調でした。

「グリーン」については、3～4月の大雪と残雪で農作業並びに家庭園芸用品の動きが遅れたものの、夏場の高温と残暑が長引いたことから収穫用品、梱包資材等農業資材が総じて好調に推移しました。その後、冬シーズンを迎えて除雪機、リンゴ資材、雪囲い用品、除雪用品、作業手袋等の季節商品の動きが活発化し、園芸用品全般を牽引しました。中でも除雪機は、ここ2～3年の大雪によって需要が増え、売上を大幅に伸ばしました。

この結果、セグメント利益は245百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は、3,025百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

「カー」については、スタッドレスタイヤ、ワイパーブレードが好調に売上を伸ばしましたが、第2四半期連結累計期間における夏タイヤの不振に加え、震災特需のインバーター、ガソリン携行缶、昨年の地上デジタル放送完全移行に伴うワンセグ付きポータブルナビ、チューナー等の落ち込みを補うまでに至りませんでした。

「レジャー」については、3～4月の降雪と雪解けの遅れから自転車が大きく売上を落とししたほか、6～7月の低温が影響し、ランタン、燃料、保冷剤、クーラーボックスが不振でした。

この結果、セグメント利益は82百万円（前年同期比91.5%増）となりました。

「その他」

「その他」の売上高は、1,129百万円（前年同期比43.4%増）となり、セグメント利益は14百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ417百万円増加し、17,920百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ730百万円増加し、6,080百万円となりました。主に、有価証券が39百万円減少しましたが、商品及び製品が季節商品品揃え等により551百万円、受取手形及び売掛金が194百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ312百万円減少し、11,840百万円となりました。主に、敷金及び保証金が約定返済等により140百万円、建物及び構築物が純額で121百万円、投資有価証券が貸付債権信託の期日前償還等により59百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、8,677百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が仕入高増等により864百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金が816百万円、未払法人税等が151百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ225百万円増加し、4,282百万円となりました。主に、社債が700百万円減少しましたが、長期借入金が933百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ298百万円増加し、4,961百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が28百万円減少しましたが、利益剰余金が326百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は27.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年9月20日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	621,947	588,973
受取手形及び売掛金	331,880	526,816
有価証券	41,558	2,163
商品及び製品	4,094,309	4,645,380
繰延税金資産	89,220	127,954
その他	170,744	188,926
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	5,349,652	6,080,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,094	2,166,309
土地	5,437,847	5,488,963
その他(純額)	212,428	185,741
有形固定資産合計	7,938,370	7,841,014
無形固定資産		
	20,819	19,732
投資その他の資産		
投資有価証券	847,100	787,719
敷金及び保証金	2,797,934	2,657,836
繰延税金資産	95,118	85,325
その他	461,502	456,472
貸倒引当金	△7,570	△7,527
投資その他の資産合計	4,194,084	3,979,825
固定資産合計	12,153,274	11,840,572
資産合計	17,502,926	17,920,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,947,618	3,812,209
短期借入金	1,930,000	1,942,500
1年内返済予定の長期借入金	2,048,480	1,231,910
1年内償還予定の社債	760,000	700,000
未払法人税等	312,220	161,160
賞与引当金	35,220	101,430
役員賞与引当金	10,700	10,650
ポイント引当金	74,510	83,108
その他	664,279	634,199
流動負債合計	8,783,028	8,677,167
固定負債		
社債	1,630,000	930,000
長期借入金	1,691,900	2,625,585
退職給付引当金	232,534	252,045
役員退職慰労引当金	74,100	76,900
資産除去債務	219,157	222,073
その他	209,085	175,824
固定負債合計	4,056,777	4,282,428
負債合計	12,839,805	12,959,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,188,420	3,514,970
自己株式	△261	△261
株主資本合計	4,639,988	4,966,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,131	△5,356
その他の包括利益累計額合計	23,131	△5,356
純資産合計	4,663,120	4,961,183
負債純資産合計	17,502,926	17,920,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
売上高	23,033,230	23,351,616
売上原価	18,105,231	18,386,669
売上総利益	4,927,999	4,964,947
販売費及び一般管理費	4,228,078	4,268,815
営業利益	699,921	696,131
営業外収益		
受取利息	7,645	3,834
受取配当金	11,663	10,166
不動産賃貸料	22,971	27,143
発注システム使用料	20,957	21,928
その他	55,045	35,304
営業外収益合計	118,284	98,378
営業外費用		
支払利息	83,344	62,605
社債発行費償却	22,676	—
支払保証料	7,263	4,988
その他	8,747	4,922
営業外費用合計	122,031	72,516
経常利益	696,173	721,993
特別利益		
固定資産売却益	196	143
役員退職慰労引当金戻入額	50	—
貸倒引当金戻入額	332	—
特別利益合計	578	143
特別損失		
固定資産売却損	13	356
固定資産除却損	2,094	309
投資有価証券評価損	43,335	7,882
災害による損失	31,562	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,524	—
特別損失合計	199,530	8,548
税金等調整前四半期純利益	497,221	713,588
法人税、住民税及び事業税	301,276	360,462
法人税等調整額	16,035	△36,778
法人税等合計	317,312	323,683
少数株主損益調整前四半期純利益	179,909	389,904
四半期純利益	179,909	389,904

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	179,909	389,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100,016	△28,488
その他の包括利益合計	△100,016	△28,488
四半期包括利益	79,892	361,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,892	361,416
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年2月21日至平成23年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,352,540	6,688,712	5,059,914	3,144,194	22,245,360	787,870	23,033,230	—	23,033,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,234	22	711	24,332	26,301	8,057	34,359	△34,359	—
計	7,353,774	6,688,735	5,060,625	3,168,526	22,271,662	795,927	23,067,590	△34,359	23,033,230
セグメント利益	82,008	167,905	228,565	42,989	521,467	15,068	536,535	163,385	699,921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額163,385千円には、支払利息の調整額83,344千円、社債発行費償却調整額22,676千円、支払保証料の調整額7,263千円、当社グループ間の不動産賃貸料の42,750千円及び当社グループ間取引に係る調整額7,351千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月21日至平成24年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,868,470	7,173,451	5,154,840	3,025,163	22,221,926	1,129,690	23,351,616	—	23,351,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,312	33	297	28,603	30,248	9,720	39,968	△39,968	—
計	6,869,783	7,173,485	5,155,138	3,053,767	22,252,174	1,139,410	23,391,584	△39,968	23,351,616
セグメント利益	54,956	182,585	245,538	82,306	565,387	14,952	580,340	115,791	696,131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額115,791千円には、支払利息の調整額62,605千円、支払保証料の調整額4,988千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間売上に係る調整額5,446千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。